|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（１）地震発生時の対応** | | | | 指導  時期  等 | | | 主な  指導  場面 | | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 | |
| ① | 緊急地震速報を見聞きしてから，また，突然揺れを感じてから，揺れがおさまるまで適切に行動する。 | 1) | 周囲を確認し，あわてずに，まず身の安全を確保する。 | ○ | | | 行 | | ・[地震　その時](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)  [10のポイント](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)　　(東京消防庁) |
| 2) | 頭を保護し，丈夫な机の下など安全な場所に避難する。 | ○ | | | 行 | |
| 6) | 屋外では，落石や崖崩れ，ブロック塀の倒壊や看板やガラスの落下に注意する。 | ○ | | | 行 | |
| ② | 揺れがおさまった後，余震に注意して適切に行動する。 | 3) | 倒れそうになっている家具や落ちかけた照明などには近づかない。 | ○ | | | 行 | |
| 4) | ブロック塀や門柱には近づかない。 | ○ | | | 行 | |
| ③ | 地震により，火災や津波，土砂崩れ，土石流及び液状化が発生することを知り，適切に行動する。 | 5) | 津波が来るかもしれないので海岸や河川には近づかない。 | ○ | | | 行 | |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
| **（２）地震の大きな揺れの後の知識** | | | | 指導  時期  等 | 主な  指導  場面 | | | | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 | |
| ① | 地震の大きな揺れにより，斜面などが普段より脆弱になっていることを知る。 | 1) | 少しの雨でも土砂災害が起こることがある。 | ○ | 行 | | | |  |
| 2) | 崖などに亀裂が入ることがある。 | ○ | 行 | | | |
| ② | 地震の大きな揺れにより，堤防などの施設が損傷することがある。 | 1) | 堤防などの施設が損傷することがある。 | ○ | 行 | | | |
| 2) | これまでより少ない雨量で堤防などが損傷し，洪水となることがある。 | ○ | 行 | | | |
| 3) | 排水施設の損傷により，これまでより少ない雨で浸水することがある。 | ○ | 行 | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（４）地震に対する備え** | | | | 指導  時期  等 | 主な  指導  場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 | |
| ② | 自分が普段いる場所をいくつか上げ，そこで地震の揺れが来た時を想像してみる。そこから普段からやっておかなければならない備えについて知り，災害に備える。 | 6) | 屋外では，落石や崖崩れ，ブロック塀の倒壊や看板やガラスの落下に注意する。 | ○ | 教・行 |  |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例